

私たちが担う「ポスト平成」 ～現役大学生による政策提言発表会～

プログラムのご案内

まもなく平成が終わります。次の時代を持続可能な社会として切り拓いていくためには、それを担う人材を育てる必要があります。経済界、労働界、教育研究機関、学識者有志による「日本アカデメイア」(事務局：日本生産性本部)では、このような問題認識の下、大学生を対象に、日本が直面する解決困難な課題について学び、考える場として「ジュニア・アカデメイア」を開講しています。この度、4期生41名の学生たちが自らテーマを選び、考え、まとめた提言を発表いたします。ぜひ会場に足をお運びいただき、**今の若者の問題意識や元気な意見に耳を傾けていただきたく**、ご案内申し上げる次第です。ご来場をお待ちしております。

ジュニア・アカデメイア 政策提言発表会 概要

- 日時 **2019年3月19日(火) 13時00分～16時30分** *入退場自由
- 会場 **ザ・キャピトルホテル東急1階「鳳凰」**
- 発表者 9大学の学生有志(大学1年生～修士2年生)41名
(お茶の水女子大学、学習院大学、慶應義塾大学、上智大学、千葉大学、津田塾大学、東京大学、一橋大学、早稲田大学) *大学名50音順
- ご招待 報道関係者、経済界、労働界、学識者、政府・政党・自治体関係者他約200名程度
- プログラム 13時00分 開会

13時10分～15時40分 提言発表 (大学混成7グループ、発表・質疑各10分)
発表テーマ(案)

- イノベーションが起きる地方の条件
- 地方創生～地方金融機関に着目して～
- 国際競争力強化・そろそろ日本の雇用慣行を変えませんか?
- 政策形成における課題
- 私になりたい医師の姿
- 未来のリーダーの育て方
- 私たちが財政を立て直す など

15時40分 審査

16時10分 表彰 ジュニア・アカデメイア賞(大賞)、特別賞授与

16時30分 閉会

※発表テーマ、内容、順番等は当日までに変更になる可能性がありますので予めご了承ください。

※「ジュニア・アカデメイア」「日本アカデメイア」につきましては別添1・2をご参照ください。

※別紙お申込書にてお申し込みください。

※このご案内は、日本アカデメイア、日本生産性本部のご関係の皆様にお送りしております。万一重複してのご案内となりましたらば、何卒ご容赦賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

昨年の政策提言発表会の様子



合宿・グループ研究の様子



【お問い合わせ先】 日本アカデメイア事務局(日本生産性本部統括本部内)担当:成田、杉山
TEL: 03-5511-2030 FAX: 03-5511-2022 MAIL: j-akademeia@jpc-net.jp

第4期ジュニア・アカデミアについて

1. 趣旨（創設：2015年10月1日）

- (1) 人材を育てるという「日本アカデミア」の設立当初からのミッションに基づき、志のある大学生を対象に創設されました。
- (2) 一方通行の講義ではなく、次の時代を担う学生が主体となって、日本が直面する解決困難な課題について学び、考えることを主眼としています。
- (3) 日本の将来を担う人たちが育つ新しい仕組みづくり、「中核層」の育成を目指します。

2. 指導教授陣（敬称略）

校長	長谷川 閑 史	武田薬品工業相談役
教頭	谷 口 将 紀	東京大学教授
指導教授	曾 根 泰 教	慶應義塾大学名誉教授
指導教授	野 中 尚 人	学習院大学教授
指導教授	古 谷 修 一	早稲田大学教授
指導教授	小 舘 亮 之	津田塾大学教授

3. 運営概要

- (1) 第4期は、お茶の水女子大学、学習院大学、慶應義塾大学、上智大学、千葉大学、津田塾大学、東京大学、一橋大学、早稲田大学からの学生有志41名で昨年9月に開講しました。
- (2) 集中講義と並行して、学生は研究グループを自主的に編成し、各グループ単位で研究を行い、政策提言を作成しました。グループ編成にあたっては、同じ大学で固まらないことだけを条件としました。研究テーマ、研究方法、発表内容は学生たち自らが考え、選び取ったものであり、日本アカデミアの見解とは一致しません。

4. 集中講義開催履歴

開講(9.14~15)	長谷川閑史・ジュニア・アカデミア校長・武田薬品工業相談役 「日本そして世界の将来をリードして行く若者達へ」
講義①(10.4)	ジャーナリストとの対話 「『平成デモクラシー』を超えて」
講義②(10.18)	金丸恭文・フューチャー代表取締役会長兼社長グループ CEO 「Challenge to Innovation」
講義③(11.1)	白波瀬佐和子・東京大学教授 「日本の階層構造：社会の不平等・わたしの不平等」
講義④(11.8)	西沢和彦・日本総合研究所・調査部主席研究員 「社会保障と財政」
講義⑤(12.6)	野村彰男・元国連広報センター所長 「変わる世界と『国連グローバル・コンパクト (UNGC)』、そしてSDGs」
講義⑥(1.15)	白石隆・前政策研究大学院大学学長 「これから日本とアジア、世界はどうなるか」

日本アカデミアについて

1. 発足（2012年4月1日）

日本の政策を考える官民共通の基盤を再構築し、日本の公共を立て直すことを目的に、経済界、労働界、教育研究機関、学識者らにより設立されました。

2. 主な活動

○日本の将来に関する政治リーダーとの継続的な対話と合意形成

政治リーダーの活動を支える環境を各界で整備するため、日本の長期ビジョンについて総理大臣や閣僚等との継続的な対話を行い、日本の改革に向けた合意形成を目指しています。

○産官学による日本と世界の長期ビジョンの検討とネットワークの立て直し

産業界（経済界、労働界）、官界、学界の人的・知的ネットワークを立て直します。日本と世界の直面する基本的かつ重要な問題を取り上げ、垣根を超えた認識の共有化と問題解決に向けた検討を進めています。

○次世代の人材育成

次の時代の日本を担う人材の育成を目指します。経済界、労働界、官界の垣根を超えて交流し、日本が抱える諸課題をともに議論し、知恵を出し合う場づくりを進めています。その一環として、志ある学生が主体的に学び、考えるジュニア・アカデミアを運営しています。

3. 体制（2019年2月現在）

〈共同塾頭・会員委員長・運営幹事〉（10名）

共同塾頭（常任）	牛尾 治 朗	ウシオ電機取締役会長
共同塾頭（常任）	茂木 友三郎	キッコーマン取締役名誉会長 取締役会議長
共同塾頭（常任）	佐々木 毅	元東京大学総長・明るい選挙推進協会会長
共同塾頭	神津 里季生	連合会長
共同塾頭	五神 真	東京大学総長
共同塾頭	田中 愛 治	早稲田大学総長
共同塾頭	長谷山 彰	慶應義塾長
会員委員長	福川 伸 次	地球産業文化研究所顧問・東洋大学総長
運営幹事	曾根 泰 教	慶應義塾大学名誉教授
運営幹事	増田 寛 也	東京大学大学院客員教授

上記メンバーを中心に、経済界、労働界、学識者等約80名の有志により構成されています。

事務局は公益財団法人日本生産性本部がつとめています。

ジュニア・アカデミア 政策提言発表会 (3/19)

別紙

ご参加申込書

1. 日時 2019年3月19日(火) 13時00分～16時30分

2. 会場 ザ・キャピトルホテル東急 1階「鳳凰」

2019年 月 日

貴組織名		
お名前	フリガナ	所属・役職
お名前	フリガナ	所属・役職
お名前	フリガナ	所属・役職
ご連絡先	<input type="checkbox"/> 連絡担当者のお名前・所属・役職	
	<input type="checkbox"/> 電話	
	<input type="checkbox"/> FAX	
	<input type="checkbox"/> MAIL	

- お席に限りがございますので、大変恐縮ではございますが **3月11日(月)までを目途に、MAIL:j-akademeia@jpc-net.jp** もしくは、**FAX:03-5511-2022** へご返信頂ければ幸いです。
- 発表会途中での入退場可能です。
- お申し込みをいただいた際は必ず事務局よりお電話を差し上げます。
- 複数名のご参加を歓迎致します。記入欄が不足する場合は、大変お手数ではございますが、本用紙を複写しご利用ください。

<個人情報の取扱いについて> 公益財団法人日本生産性本部では、皆様の個人情報を以下のように取扱います。同意いただけない場合は、適切なサービスを受けられない場合がございます。同意いただいた後でも個別に不同意の表明をすることが可能です。①利用目的:本事業に関する資料作成、連絡、事前資料等の配布、開催当日での使用、②特にお申し出がない限り通常業務の必要な範囲(講師または参加者への名簿の配布)において第三者に提供することがあります。③今回取得する個人情報について、開示、訂正、削除、利用停止等を求めることが可能です。以下までご連絡ください。公益財団法人日本生産性本部統括本部個人情報保護担当窓口(TEL 03-3511-4028)【責任者:個人情報保護管理者(総務部長)】

【本件についてのお問い合わせ先】

日本アカデミア事務局(日本生産性本部統括本部内) 成田、杉山
TEL:03-5511-2030 FAX:03-5511-2022 MAIL:j-akademeia@jpc-net.jp